

ジェノサイドを続ける イスラエル製のドローンの 導入検討！！

防衛省はイスラエル製の攻撃型ドローン（無人攻撃機）の導入に向け、候補機を選定して実証試験を行わせています。候補機9機中の5機がイスラエル製です。3月末までの実証試験に約100億円の税金が使われています。官民一体でイスラエルの虐殺に加担しようとしています。**契約の撤回を！**

防衛省が導入を検討している
製 攻撃型ドローン

Elbit Systems 「SkyStriker」 最大2時間100km航行可	IAI 「Point-Blank」 重量7kg 全長1m	IAI 「ROTEM」 重量6KG 弾頭1.2kg携行で30min飛行
Uvision HERO-120 重量18KG 60km航行可	IAI 「Heron」 重量1270kg 全長8.5m	

軍事化が進む社会・経済

2022年12月

安保3文書閣議決定 安全保障政策の大転換

敵基地攻撃能力の保有
軍事費を5年間で**43兆円**

3文書とは、「国家安全保障戦略」
「国家防衛戦略」 「防衛力整備改革」

国家安全保障戦略

・外交や防衛に加えて**経済安保やサイバー**など含めた戦略的指針

国家防衛戦略

・防衛の目標を設定。「反撃能力」（**敵基地攻撃能力**）の手段を明記。期間はおよそ10年。重視するものとして、以下の7項目を明記。
 ・①スタンド・オフ防衛 ②統合防空ミサイル防衛
 ・③無人アセット ④領域横断 ⑤指揮統制
 ・⑥起動展開・国民保護 ⑦強靱性、持続性

防衛力整備計画

・10年後の体制を念頭に、5年間の経費総額、装備品（武器など）などの数量記載。23年～27年度の5年間で**総額43兆円**

長射程ミサイル(距離は射程)

	12式誘導弾	1000km超
	トマホーク	1600km
	高速滑空弾	2000km超
	極超音速誘導弾	2000km超

12式誘導弾 国産で能力向上型開発。陸海空から発射
トマホーク 米国製。イラク戦争などで米軍使用
高速滑空弾 国産で能力向上型開発。高速で滑空
極超音速誘導弾 国産で開発。音速の5倍以上で迎撃困難

航空機

F35A・F35B
高いステルス性。長射程ミサイルで攻撃



スタンド・オフ電子戦機
離れた位置から通信やレーダーを妨害



トマホーク、潜水艦、無人機を除くイメージは防衛省資料や航空・海上両自衛隊ホームページ資料をもとに作成

艦艇

多機能護衛艦
長射程ミサイルを搭載するように改修

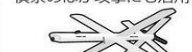


潜水艦
長射程ミサイルを発射できる艦を開発



無人機

多用途や攻撃用
偵察のほか攻撃にも活用



防衛力整備計画に盛り込まれた主な兵器

2023年6月成立

軍拡財源確保法

軍事費総額を**43兆円**を確保する法律
税外収入を積み立てて複数年度にわたって防衛費に充てる「**防衛力強化資金**」の新設が柱。

円安・物価高で増額か！？

膨らむ軍事費

アメリカから武器の爆買2023年度は
1兆4768億円



2024年度の軍事予算は

2024年度当初予算 **7兆7249億円**
 2023年度補正予算 **8130億円**
 新規後年度負担(爆買いのローン返済) **7兆6594億円**

- ★具体的なことは先送り！
- ★市民生活を圧迫する社会保障や医療・福祉など財源の削減につながる。
- ★財源確保は増税か！？